

2022年8月25日(木)13時～CRTスタジオで収録

受験勉強はいつからスタートすべきか？

開倫塾のおすすめは、受験1年半前の9月、つまり、小5・中2・高2の9月からです

開倫塾

塾長 林明夫

1. (1) 日本経済新聞 8月25日(木)朝刊電子版は参考になります。
(2) <教育岩盤・漂流する入試>「受験は逆転の大チャンス・『ビリギャル』モデル、小林さやか」小林さんは、受験1年半前から1日15時間、慶應義塾大学文学部を目指して猛勉強。見事、慶應義塾大学総合政策学部に入学を果たしました。
(3) ベストセラーの小説が、映画やマンガになり、一世を風靡しました。「ビリギャル」は流行語にもなりました。この「ビリギャル」は、「誰でも、やればできる」という、受験勉強の原点を示す「必読書」です。是非ご一読ください。
2. (1) 「受験勉強はいつからスタートすべきか？」というご質問がよくあります。
(2) 開倫塾では、受験の1年半前、つまり、受験前学年の9月から、受験勉強をスタートすることをおすすめしています。
 - ① 受験学年に入ってから受験勉強をスタートしなかった人は、気が付いた時から受験勉強をしたほうがよいのは当然です。受験学年に入ったら、即、受験勉強を開始してください。受験勉強とは、「受験全教科をスミからスミまで理解し、定着・身に着け、入学試験で合格点を取れるまでに得点力を上げること」です。
 - ② ですから、今まであまり熱心に勉強してこなかった場合には、不得意教科や不得意分野があることが多いので、割と時間がかかります。
 - ③ 受験直前のスタートでは、間に合わない場合が多々あります。では受験勉強はいつからスタートすればよいのが、大切な問題となります。
(3) 入試1年前から受験勉強をスタートすれば合格かといえば、不得意教科や不得意分野、学習習慣や読解力が不足している場合には、1年前からでは時間が足りず、難しい場合も多いようです。
3. (1) 開倫塾のおすすめは、受験の約1年半前、つまり、小5・中2・高2の9月から受験勉強をスタートすることです。
(2) ① 私立中入試・公立中高一貫校入試の受験勉強は、小学5年生の9月からスタートする

ことをおすすめします。

②高校入試の受験勉強は、中学 2 年生の 9 月からスタートすることをおすすめします。

③大学入試の受験勉強は、高校 2 年生の 9 月からスタートすることをおすすめします。

(3) ①入試 1 年半前から受験勉強をスタートしたほうがよいのは、私立中入試・公立中高一貫校入試、高校入試、大学入試だけではありません。

②大学院入試や TOUFL、TOEIC も 1 年半前から受験勉強をスタート。

③国家公務員・地方公務員はじめありとあらゆる公務員試験、医師国家試験はじめありとあらゆる医療・看護・介護関係国家試験も受験 1 年半前からスタートすることをおすすめします。

4. (1) <具体的には>

小学校、中学校、高校、大学、大学院など、今通っている学校を卒業する「1 年半ぐらい前」になったら、卒業後どうするか、自分の進路をよく考える。

(2) 自分の進路をよく考えて、上の学校に進学をしたり、就職をしたりするのに、入学試験や採用試験、国家試験などの試験を受けなければならないのなら、1 年半前から受験勉強をスタートする。

(3) どのような試験でも「受験生としての自覚」を持って受験勉強をスタートする。



5. (1) 1 年半では足りない場合もありますが、多くの試験は、1 年半、「受験生としての自覚」を持って、「勉強の仕方を工夫」、「勉強の時間を確保」、「集中して勉強」しさえすれば合格します。

(2) 医学部医学科を受験する、東京大学・東京工業大学など理系の TOP 校を受験する場合は、2 年前からのスタートをおすすめします。

(3) 司法試験や公認会計士試験、税理士試験など、専門性が高く、学習範囲の広い難関な国家試験は 3 ~ 4 年前からのスタートをおすすめします。

6. (1) どのような試験も、なぜこの試験を受験するのかを含めて、「受験生としての自覚」を明確に持ち続け、最後まであきらめなければ、一定の期間(ふつうは 1 年半、難しい試験の場合は 3 ~ 4 年間) 受験勉強をすれば必ず合格します。

(2) ①では一体、受験生は、「受験生としての自覚」を持ったならば、1 日に何教科を、何時間ぐらい勉強したらよいか。

②仕事や学校の授業がある日は、1 日に 4 教科、8 時間の勉強をおすすめします。

(これを、「1 日 4 教科、8 時間主義」といいます)

③仕事や学校の授業がない日は、1 日に 4 教科、12 時間の勉強をおすすめします。

(これを、「1 日 4 教科、12 時間主義」といいます)

(3) ①開倫塾では、受験勉強の中で、全教科の勉強の基本となる「読解力」を、「辞書・新聞・読書」に親しみ、「学習習慣」として身に着けることをおすすめしています。

②読書に大いに励み、「作者との時空を超えた対話」をお楽しみください。

また、英字新聞を含む新聞を、毎日 30 分以上、腰を落ち着けて 1 面からなめるよう

に読むことで、日本や世界で今起きていることを知り、自分で考える力、批判的思考能力を身に付けてください。

③開倫塾では、学校で学ぶ教科の中で、受験に出題されない教科も価値があり、大切なものと考えます。

- ・授業をしっかり受け、復習・定着・予習を怠らず、定期試験の時には1～2か月前からしっかり勉強し、100点満点を目指すべきは、受験に出題されない教科です。
- ・内申点アップや奨学金の申請、推薦入試にも役立ちますので、受験に出題されない教科の勉強時間も、受験勉強の時間の中にお入れください。

7. (1) 「ビリギャル」の小林さやかさんは、塾の坪田信樹先生のご指導で、1日15時間の猛勉強を1年半続け、道が開けました。

(2) 15時間とはいえませんが、大切な試験を受験する場合には、1年半、「仕事や学校のあ
る日は、1日4教科8時間」「仕事や学校のない日は、1日4教科12時間」受験勉強することで、「自分の未来は自分の力で切り開く」ことをおすすめします。

(3) 大切なことは、何のためにその試験を受けるのかを自分でよく考えた上で、「受験生としての自覚を持って学ぶこと」です。

